

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第 9 号	氏名	高田 正史
学位審査委員	主 査 進藤 裕幸 副 査 近藤 宇史 副 査 丹羽 正美		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、膝関節手術における術後疼痛の抑制において PGE2 の動態に視点をあてフルルビプロフェンの先制鎮痛作用を解明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 手術の直前にフルルビプロフェンを静脈内投与し、術後疼痛の軽減効果を疼痛指標（VAS）ならびに PGE2 産生の抑制効果を術直後から経時的且つ定量的に評価することで、本薬剤の先制鎮痛作用機序を検証する研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、フルルビプロフェン術前静脈内投与は PGE2 産生の抑制を介して有効な先制鎮痛作用を有することが証明できた。術後疼痛の軽減により運動機能の早期回復のみならず、本剤の臨床応用の拡充や保険適応の拡大の可能性をも示唆するもので、高く評価できる。</p> <p>以上のように本論文はフルルビプロフェンの臨床応用への適応拡大にも貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			